

田原中学校

生徒数 4人
所在地 江刺田原字大平 42 番地 ☎ 2361



田原中学校の学区は、江刺の南東部に位置し、西は水沢、東と南は一関市大東町に接しており、約70%は山林です。学校は大田代小学校と同じ敷地内にあり、校庭は小中共用です。

本年度の全校生徒は4人で、全員が女子生徒です。今年の入学式では、多数のご来賓のご列席のもと、唯一の新入生が誓いの言葉を立派に述べました。2年ぶりの新入生ということで、学校にとっても地域にとってもうれしい新年度スタートになりました。

田原中学校では、ノーチャイムで学校生活を送っています。毎朝、朝読書から1日が始まり、集中し

て授業に臨んでいます。部活動は、全員がバドミントン部に所属して活動しています。生徒会活動をはじめ、一人一人が責任をもって係活動に取り組んでおり、応援歌練習や壮行式でのエールなど伝統を継承しています。

田原中学校は、本年度をもって閉校となり、学校創立当初の田原第二中学校を含めた72年の歴史に幕を閉じることになりました。3月には閉校式を予定しており、来年4月からは江刺第一中学校と統合になりますが、生徒、教職員で一丸となって、思い出に残る1年にしたいと思います。



一人一人が輝く1年を目指して

学校通信

生徒会での取り組み

本年度の生徒会スローガンは「『有終完美』～輝け！最後まで～」です。このスローガンは、田原中学校最後の1年間を輝かしいものにしようという思いが込められています。

生徒会活動には、D活動（日常の活動）とE活動（月1回の活動）があります。E活動では、エコキャップ運動の一環として、ペットボトルのキャップ回収に取り組んでいます。



地域総出の大運動会

本年度2年目となった大田代学校・地区民合同運動会では、小中学生と地域の皆さんがそろっての大運動会となりました。地域ぐるみで子どもたちの健全育成に力を入れており、学区全戸が加入する大田代学校PTA（小中合同のPTA）と大田代教育振興会の全面的なご支援とご協力により、田原中学校にとって最後の年にふさわしい感動的な運動会となりました。



大田代子ども神楽



地区民種目スイカ送り

働くことのたいへんさを学びます

田原中学校では、1年生から3年生まで全校でキャリア体験学習（職場体験）を毎年実施しています。以下は、生徒の感想です。

- 今回の体験学習の中で、一つの物事に粘り強く取り組む力を身に付けることができたと思います
- 本に関する仕事だけでなく、利用者への気配りも大切なことだと思いました



いいところ、知っとこ、おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



◀ドローンで上空から撮影

姉体地区

拠点 姉体地区センター
(水沢姉体町字宿8番地3 ☎ 2524)

姉体地区は、水沢の東南部に位置し、東端を北上川が流れています。美しい田園風景が広がる稲作を中心とした純農村地帯でしたが、平成7年から分譲を開始した複合住宅団地「マイアネタウン」の造成を機に、現在の人口は4000人を超え、市内でも数少ない人口増加地域となっています。

今、姉体の人たちの元気の源は、姉体出身で今年から大リーグに挑戦し、ロサンゼルス・エンゼルスで大活躍中の「大谷翔平選手」です。その存在を通して、地元意識が醸成されており、姉体町振興会は、この意識の高まりを「姉体ふるさと納涼まつり」をはじめとした住民参加型の事業につなげ、「一生住み続けたいそんなふるさとづくりに取り組んでいます。

北上川右岸堤防と中州にある北上川遊歩道の利活用、高齢化と健康づくりへの対応に取り組む「姉体歩こう会」は、今年で8年目となります。

毎年4月から11月まで計16回の開催で、うち1回は、お楽しみウォーキングと称して岩手町の北上川源流や石巻市の河口など北上川に関連する場所でのウォーキングを楽しんでいます。参加者25人ほどで始めた歩こう会ですが、今では北上川周辺や地区内の名所旧跡巡りのウォーキングに毎回60人ほどの参加者があり、健康と新旧住民の交流の場として定着しています。



家族連れなどでにぎわう会場

「姉体ふるさと納涼まつり」は平成25年、20年ぶりに復活し、今年で6回目を迎えました。その年に60歳になる同級生（還暦会）が中心となり、祭り内容を企画立案し、運営は、振興会の各専門部、区長会、会館長協議

会、食生活改善推進員協議会、JA女性部、老人クラブ、消防団および婦人消防協力を構成メンバーとする実行委員会が担い、まさに「オール姉体」で取り組んできました。

今年も、8月14日に開催しました。第1部は、姉体太鼓「鳴鼓会」の太鼓演奏に始まり、地元ゆかりのミュージシャンERÿCAさんのミニライブや大谷翔平選手にちなんだ姉体まるごとウルトラクイズ、第2部は、姉体音頭を中心とした盆踊り、お楽しみ抽選会と姉体一色の「地元の祭り」に地区民はもちろん帰省中の多くの人たちにも来場していただき大盛況でした。



一面に広がるからし菜の花

道の駅みずさわ周辺のにぎわい創出策の一つとして、道の駅南方の市有地に、市と協働で駐車場を整備し、公園化を図りました。用地の一部(30%)に春は「からし菜」を、秋には「コスモス」の花を咲かせています。新聞やテレビにも取り上げられ、たくさんの人が道の駅から小藤橋を渡って花畑に立ち寄っていただけるようになりました。

次は、道の駅東の中州にある北上川遊歩道にも足を運んでいただくために、国土交通省、市および振興会が協働で除草や雑木の伐採を実現させたいと考えています。